

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00166118

2023年10月27日

発信課	上下水道部経営企画課
担当者	渡部
連絡先	電 話 0166-24-3170
	F A X 0166-25-9500
	E-mail keieikikaku@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 [ ] 募集 [○] 契約・入札 [ ] 会議・説明会 [ ] その他 [ ]
日 程	令和5年10月27日 ~ 令和5年11月27日
発表項目 (行事名)	「水道事業・下水道事業後期財政計画（素案）」に対する意見等の募集について
概 要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>1 趣旨 水道局では、市民生活に欠かせない水道・下水道を持続していくために、令和6年度から9年度を計画期間とする新たな経営戦略である「後期財政計画（素案）」を作成しました。今回、この素案に対して、広く意見等を募集するため、意見提出手続（パブリックコメント）を実施します。</p> <p>2 募集期間 令和5年10月27日（金）～令和5年11月27日（月）</p> <p>3 資料の配布場所 水道局庁舎3F、石狩川浄水場、忠別川浄水場、下水処理センター、市政情報コーナー、各支所、各公民館、市HP</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道（取材）に当たってのお願い	
備 考	

## (2) 下水道事業会計における収支の見通し

収支計画 (単位：百万円)	後期財政計画				長期財政推計								
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
収益的 収支	①事業収益	9,019	8,916	8,939	8,880	8,922	8,936	8,872	8,844	8,844	8,850	8,835	8,793
	②事業費用	8,963	8,838	8,873	8,829	8,899	8,812	8,763	8,720	8,844	8,777	8,683	8,411
(税抜)	③当年度純損益(①-②)	56	78	66	51	23	124	109	124	0	73	152	382
資本的 収支	④資本的収入	3,239	5,537	5,363	5,573	6,597	4,208	4,271	5,204	4,549	3,808	3,914	4,317
(税込)	⑤資本的支出	5,931	8,093	7,755	7,852	8,776	6,496	6,355	7,168	6,451	5,617	5,745	6,129
	⑥資本的収支(④-⑤)	▲2,692	▲2,556	▲2,392	▲2,279	▲2,179	▲2,288	▲2,084	▲1,964	▲1,902	▲1,809	▲1,831	▲1,812
	⑦補填財源	2,545	2,590	2,476	2,558	2,386	2,238	2,187	2,131	2,115	1,945	1,821	1,530
	⑧当年度資金収支(③+⑥+⑦)	▲91	112	150	330	230	74	212	291	213	209	142	100
	⑨前年度からの繰越資金	199	108	220	370	700	930	1,004	1,216	1,507	1,720	1,929	2,071
	⑩年度末資金残高(⑧+⑨)	108	220	370	700	930	1,004	1,216	1,507	1,720	1,929	2,071	2,171

- 令和9年度までは**当年度純損益での黒字と年度末資金残高の確保**ができる見通し  
 → 大きな状況の変化等がなければ、後期財政期間中は料金改定をせずに経営ができるものと考えています。
- 令和10年度以降も、**年度末資金残高を確保**できる見通し  
 → 今後の事業実施などによっては、状況の変化も起こり得るので、**定期的な検証を継続**していきます。

## 4 収支計画における推計の考え方（主な項目）

- **料金収入**（水道料金・下水道使用料）  
 人口減少等に伴う、水需要の減少を踏まえながら、現行の料金体系で推計を行っています。
- **維持管理費**  
 施設を維持する経費（委託料、修繕費など）は、物価の上昇傾向を踏まえた推計としています。
- **建設改良費**  
 施設の老朽化の状況を踏まえ、優先順位等を見極めながら、更新等の経費を積算しています（維持管理費と同様に、物価の上昇を反映）。

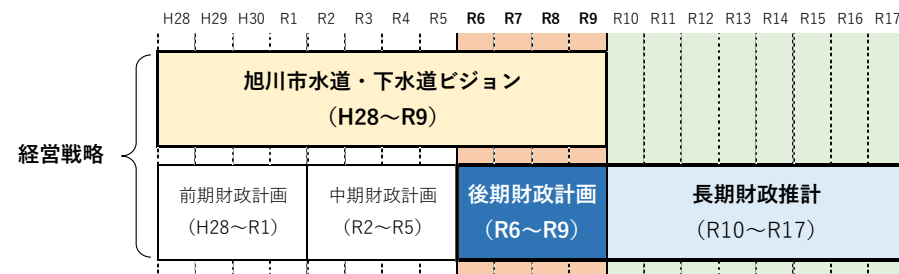
## 5 財政計画の事後検証・改訂

- **P D C A サイクルの実施**（短期的な視点での見直し）  
 → 毎年の検証結果を**各年度の予算**に反映していきます。
- **経営戦略の定期的な改定**（長期的な視点での見直し）  
 → 財政計画は**4年ごと**（ビジョンは**12年ごと**）に改訂します。

# 水道事業・下水道事業後期財政計画（素案）

（令和6～9年度）【概要版】

## 1 財政計画の位置付け



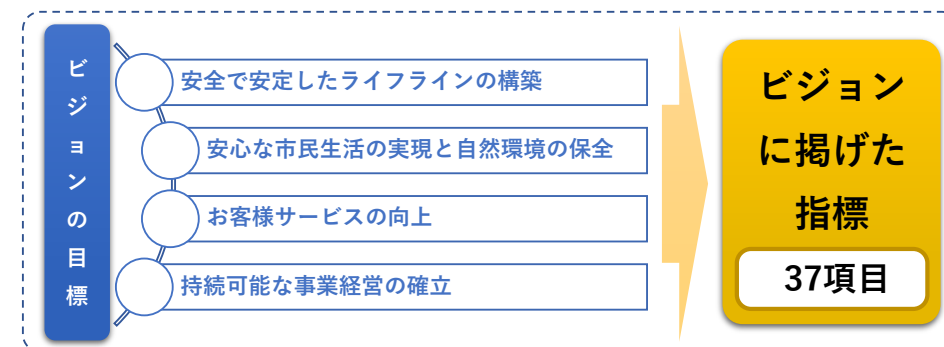
旭川市水道・下水道ビジョンは、本市の水道・下水道事業の将来の方向性を示す基本的指針で、ビジョンを実現していくために、4年ごとに区分した実行計画が**財政計画**です。

ビジョンと財政計画を合わせて、**経営戦略**に位置付けています。

## 2 事業の取組方針・目標の設定

### (1) 後期財政計画における事業の取組方針

→ ビジョンに掲げた指標の達成に向けた取組を継続します。



## (2) 各会計における主な事業の取組方針

### 水道事業会計

- **配水管更新量の確保**  
22km(水道事業の配水管総延長の1%に相当)を**毎年の更新目標**とします。
- **重要給水施設管路等の耐震化**  
重要給水施設(地域防災計画に定める避難所等)に接続している非耐震管や布設後40年以上経過した耐震性の低い基幹管路を国庫補助を活用しながら、**耐震化を進めます。**

### 下水道事業会計

- **下水管の更新等**
  - ア **污水管の更新** **老朽度調査**による状態監視と更新箇所の絞込みを実施しながら、国庫補助を活用することで、**施設の長寿命化と経済性の追求**を基本とした取組を進めます。
  - イ **雨水管の整備** 防災の観点から、**大雨時の冠水・溢水対策**(雨水管の整備)を進めます。
- **下水汚泥の更なる有効活用**  
下水から発生する**汚泥の堆肥化**に向け、取組を進めます。

## (3) その他事業全般における取組方針

- **継続的な取組**
  - ア 広聴活動・情報提供の充実
  - イ 危機管理体制の強化
  - ウ 人材の育成と技術の継承
- **新たな課題や将来に向けた取組**
  - ア DX技術の活用
  - イ 官民連携の取組
  - ウ 老朽化する水道局庁舎の在り方検討



## (4) 持続可能な経営基盤を確保していくための目標

- 経営の健全性を示す次の3指標の**維持(100%以上)**を目標とします。

### ア 料金回収率

【水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)	目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
料金回収率	100.93%	維持(→)	100.0%以上	100.0%以上

### イ 経費回収率

【下水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)	目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
経費回収率	105.07%	維持(→)	100.0%以上	100.0%以上

### ウ 経常収支比率

【水道事業・下水道事業】

指標名	現状値 (R4年度)	目標の方向性	目標 (R6~9年度)	長期目標 (R10年度~)
経常収支比率	(水道) 112.91% (下水道) 105.47%	維持(→)	100.0%以上	100.0%以上

- 目標の達成に向け、**支出の抑制策と収入の確保策**に取り組みます。

## 3 収支計画(令和6~9年度)

### (1) 水道事業会計における収支の見通し

収支計画 (単位:百万円)	後期財政計画				長期財政推計							
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的												
①事業収益	6,281	6,345	6,284	6,301	6,301	6,280	6,286	6,282	6,242	6,200	6,165	6,150
収支												
②事業費用	6,004	6,271	6,161	6,266	6,393	6,497	6,630	6,812	7,109	7,122	7,033	6,958
(税抜) ③当年度純損益(①-②)	277	74	123	35	▲92	▲217	▲344	▲530	▲867	▲922	▲868	▲808
資本的												
④資本的収入	4,340	3,838	3,772	4,815	5,856	7,512	10,326	8,432	9,278	5,840	4,371	6,214
収支												
⑤資本的支出	8,008	7,577	7,454	8,372	9,123	10,815	13,506	11,550	12,452	9,150	8,006	10,335
(税込) ⑥資本的収支(④-⑤)	▲3,668	▲3,739	▲3,682	▲3,557	▲3,267	▲3,303	▲3,180	▲3,118	▲3,174	▲3,310	▲3,635	▲4,121
⑦補填財源	3,274	3,406	3,404	3,615	3,619	3,683	3,769	3,867	4,056	4,017	3,900	3,804
⑧当年度資金収支(③+⑥+⑦)	▲117	▲259	▲155	93	260	163	245	219	15	▲215	▲603	▲1,125
⑨前年度からの繰越資金	916	799	540	385	478	738	901	1,146	1,365	1,380	1,165	562
⑩年度末資金残高(⑧+⑨)	799	540	385	478	738	901	1,146	1,365	1,380	1,165	562	▲563

- 令和9年度までは**当年度純損益での黒字と年度末資金残高の確保**ができる見通し  
→ 大きな状況の変化等がなければ、後期財政期間中は料金改定をせずに経営ができるものと考えています。
- 令和10年度以降、当年度純損益が赤字に転落、令和17年度には資金不足が発生する見込み  
→ 今後の事業実施などによっては、状況の変化も起こり得るので、**定期的な検証を継続**していきます。